

所属・氏名（薬学部 薬学科 氏名：神垣 真由美）

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発 表 の年月	発行所、発表雜 誌等又は発表 学会等の名称	概 要
1 (発表・報告) TLR4-activated microglia up-regulate GM-CSF signaling that contributes to their survival	共著	2015年3月	第88回 日本薬 理学会 年会	TLR4 活性化ミクログリアにおいて GM-CSF シグナル伝達が亢進してい る。これはミクログリアの生存に関与して いる。 神垣真由美、秀和泉、柳瀬雄輝、田中 茂、白藤俊彦、秀道広、酒井規雄 担当部分の概要: 全体のため抽出不可 能
2 (学術論文) The Toll-like receptor 4-activated neuroprotective microglia subpopulation survives via granulocyte macrophage colony-stimulating factor and JAK2/STAT5 signaling 《筆頭著者》	共著	2016年1月	Neurochemistry International	論文全体の概要: Toll 様受容体 4 活性 化ミクログリアのサブポピュレーションは 顆粒球マクロファージコロニー刺激因 子、JAK2/STAT5 シグナル伝達を介し て長期生存する。そのミクログリアは神 経細胞保護的である可能性を示した。 (当該論文のページ数: 82-94 頁) (当該論文の著者名: 神垣真由美、秀和 泉、柳瀬雄輝、白榊紘子、原田加奈、 田中芳樹、関貴弘、白藤俊彦、田中 茂、秀道広、酒井規雄) 担当部分の概要: 全文を執筆したため 抽出不可能
3 (発表・報告) Toll 様受容体 4 活性化ミ クログリアのサブポピュ レーションは GM-CSF 自己分泌を介 して長期生存し神経保 護効果を示す	共著	2016年6月	第129回 日本 薬理学会 近畿 部会	TLR4 活性化ミクログリアは GM-CSF、 JAK2/STAT5 シグナル伝達を介して長 期生存する。さらにそのミクログリアは液 性因子を介して神経細胞保護的効果を 示す可能性を示した。 神垣真由美、秀和泉、白榊紘子、柳瀬 雄輝、田中茂、白藤俊彦、秀道広、酒 井規雄、赤木宏行
4 (発表・報告) LPS 刺激ミクログリアの長 期生存における p38 リン 酸化と GM-CSF 受容体 シグナルの関与	共著	2018年6月	第133回 日本 薬理学会 近畿 部会	LPS 処置ミクログリアの GM-CSF 産生メ カニズム及び長期生存に、TLR4 の下 流に存在する p38 のリン酸化が関与し ている可能性を示した。 神垣真由美、秀和泉、白榊紘子、田中 茂、酒井規雄、赤木宏行